

読む・楽しむ・知る

『紀行文で綴る世界の地誌』



イエメンの窓飾り

木村 喜代志

プロローグ

仕事を離れたのを機会に、これまでの旅をまとめたものです。7大陸を旅して最も感じたことは、世界の自然と人間生活の多様性でした。熱帯から寒帯、多雨地帯から乾燥地帯までのいろんな自然環境と、その下での様々な生活様式は驚きであり、心を揺さぶられるものがありました。また、後に世界を動かすことになった歴史的な場所に身を置いた時に感じる胸騒ぎや、憧れ続けてきた場所や現象を目の当たりにした時の感動は、何年経過しても色あせることなく蘇ってきます。

書き留めてきた資料を手直ししながら、心に残る旅先で感じたこと、考えさせられたことを<紀行文>として書き加えました。地理関係の本をめくってみると、自分が好んで旅をした東南アジア、南アジア、アフリカや中央アメリカの国々、チベットやパタゴニアなど辺境の地は極簡単な記載か、省かれていることが多いことに気づきます。日本人にとってメジャーではない国々や地域への興味の一助になればと思っています。

地理の Geography は、Geo（土地）と graphia（記述）からなっています。すなわち、地球の表面とそこに住む人々の生活の相互関係を知ることといえます。テレビや地図を見ながら知らない地域、国に思いを馳せたことは誰にでもあると思います。旅行記を読み、見知らぬ土地の映像や話に耳を傾けていると、憧れは無限に広がっていきます。また、遺跡を前にした時、少しの知識でも想像の世界で遊ぶこともできます。この興味、関心、憧れこそが地理の第一歩といえます。とにかく、地理嫌いの原因となっている暗記などは、必要ありません。

「紀行文で綴る『世界の地誌』」のページをめくりながら自分にとっての未知の地域や、馴染みの薄かった国への興味関心が湧き、少しでも身近なものとなることを願っています。そして、自分の住むところと比較しながら同一性や違いを考える面白さ、もっと知りたい、行ってみたい、と思えるようになることを願っています。



赤道記念碑公園にて（エクアドル キトの北 23 km）

もくじ

プロローグ	1
もくじ	2
第1章 生活舞台としての地球	5
第2章 気候	9
第3章 世界の地域と国々	
1節 アジア	21
▲ 中華人民共和国	25
▲ マレーシア	36
▲ シンガポール共和国	38
▲ ミャンマー連邦共和国	41
▲ ラオス人民民主共和国	45
▲ カンボジア王国	47
▲ ベトナム社会主義共和国	50
▲ インド	53
▲ スリランカ民主社会主義共和国	66
▲ ネパール連邦民主共和国	73
▲ 中央アジアの国々	79
▲ カザフスタン共和国	79
▲ モンゴル	85
▲ イランイスラム共和国	90
▲ シリアアラブ共和国	99
▲ ヨルダンハシミテ王国	105
▲ トルコ	108
▲ イエメン共和国	113
2節 アフリカ	118
▲ エジプト アラブ共和国	125
▲ エチオピア連邦民主共和国	130

▲ 南アフリカ共和国	140
▲ ナミビア共和国	148
▲ ボツワナ共和国	152
▲ マダガスカル共和国	156
3節 ヨーロッパ	165
北欧	172
▲ フィンランド共和国	172
▲ スウェーデン共和国	175
西欧	179
▲ スイス連邦	180
南欧	183
▲ ポルトガル共和国	184
東欧	198
▲ ハンガリー	199
▲ ルーマニア	204
4節 ソ連からロシアへ	
▲ ロシア連邦	213
5節 アングロアメリカ	234
▲ アメリカ合衆国	235
▲ カナダ	256
6節 ラテンアメリカ	267
① 中央アメリカ	268
▲ メキシコ合衆国	269
▲ ベリーズ	272
▲ グアテマラ共和国	273
▲ エルサルバドル共和国	277
▲ ホンジュラス共和国	279
▲ ニカラグア共和国	281
▲ コスタリカ共和国	283

▲ パナマ共和国	287
▲ キューバ共和国	295
② 南アメリカ	314
▲ ベネズエラ ボリバル共和国	324
▲ コロンビア共和国	325
▲ エクアドル共和国	325
▲ ペルー共和国	332
▲ ボリビア多民族国	339
▲ パラグアイ共和国	348
▲ ウルグアイ東方共和国	352
▲ チリ共和国	354
▲ アルゼンチン共和国	357
▲ ブラジル連邦共和国	374
7節 オセアニア州	379
① オーストラリア連邦	379
② 太平洋の島々	398
1) ミクロネシア	399
2) メラネシア	403
3) ポリネシア	403
8節 両極地方	408
① 南極大陸	409
② 北極圏	415
旅の一区切り	419
エピローグ	420